

将来の生活を見とおした進路支援の在り方を考える



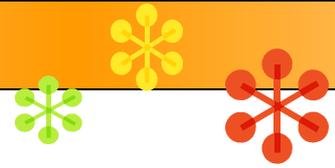
特別支援学校(知的)

キャリア教育推進ガイドブック



 実践・資料編

岩手県立総合教育センター
特別支援教育室



■ はじめに 1

第1部 キャリア教育を組織的に推進するために _____ **2**

1 **特別支援学校におけるキャリア教育の推進** 3
 特別支援教育とキャリア教育 3 / キャリア教育推進の意義 3
 特別支援学校キャリア教育推進の方向性 4

2 **キャリア教育全体推進計画の作成意義** 5
 岩手県の教育品質向上運動について 5 / キャリア教育全体推進計画作成の意義 5 / PDCAサイクルに基づいたキャリア教育全体推進計画の作成 6

3 **キャリア教育全体推進計画 計画(Plan)と実施(Do)のポイント** 7
 計画(Plan)段階におけるポイント 7 / 実施(Do)段階におけるポイント 8

4 **キャリア教育全体推進計画 評価(Check)と改善(Action)のポイント** 9
 評価(Check)段階におけるポイント 9 / 改善(Action)段階におけるポイント 10

【資料1】 キャリア教育全体推進計画(流れ図) 11
 【資料2】 キャリア教育全体推進計画表(担当・検討の場・時期・ねらい等) 12
 【資料3】 PDCAの各段階における評価の観点例 13
 【資料4】 キャリア教育を推進するための組織体制 14

コラム1 地域と共に子ども達を育てる 15

第2部 キャリア教育を系統的に行うために _____ **16**

1 **学校全体で系統的な学習を行うためには** 17
 知的障害のある児童生徒に対する教育の特徴 17 / 卒業後の生活を見とおした系統的な学習を行うために 17 / 児童生徒個々への系統的な指導・支援 18

2 **キャリア教育全体学習計画の作成** 19
 全体計画とは何か 19 / キャリア教育全体計画について 19
 キャリア教育全体学習計画の作成 20

3 **キャリア教育学習プログラムの作成と活用** 21
 キャリア教育学習プログラム①(枠組み)の役割と作成 21 / キャリア教育学習プログラム②(教科・領域等) 22 / 系統性を踏まえた指導計画作成のために 22

4 **児童生徒一人一人に応じた系統的な支援の実現** 23
 個に応じるとは 23 / 個に応じた系統的な支援とは 23
 「個別の支援計画」の実践サイクル 24 / 「個別の教育支援計画」へ 24

【資料1】 特別支援学校キャリア教育全体学習計画(例) 25
 【資料2】 特別支援学校キャリア教育学習プログラム① 枠組み(例) 26
 【資料3】 特別支援学校キャリア教育学習プログラム② 教科・領域等(例) 27
 【資料4】 各教科・領域等年問題材一覧表(例) 29
 【資料5】 特別支援学校「進路支援」全体年間計画(例) 30
 【資料6】 指導課題別段階表・系統表の紹介 31
 【資料7】 個別の指導計画作成チェックポイント 36

コラム2 一人一人のニーズに応える弾力的な教育課程の編成 37

第3部 キャリア発達を促す指導・支援の基本的な在り方 — 38

- 1 勤労観・職業観を育成するための基本 39
知的障害のある児童生徒の勤労観・職業観の育成 39 / 勤労観の育成の
ポイント 40 / 職業観の育成のポイント 40
 - 2 実的な力をつける指導・支援の基本 41
学校や家庭で許容できることと、社会が許容することは違う 41 / 「一人で
できる」「自立している」の明確な基準をもつこと 41 / 実的な力をつける
ための指導・支援の基本 42
 - 3 児童生徒の自主性や主体性を伸ばす基本 43
子どもを大切にす 43 / 一人一人の個性を認める 43 / 子どもに
期待し、可能性を信じる 44 / 子どもを正しく知る 44
 - 4 児童生徒の実態を把握するための基本 45
実態把握の基本 45 / 実態把握の結果は指導に生かされなければならない 45
心理検査や発達検査等の結果をどう活用するか 46 / 子どもを見る力(行動
観察の力)を養う 46
- 【資料1】主な心理・発達検査の種類と特徴の紹介 47
【資料2】WISC-III知能検査の概要の紹介 48
【資料3】WISC-III知能検査の結果を指導・支援に活用するために 50
【資料4】K-ABC心理・教育アセスメントバッテリーの紹介 53
- コラム3 キャリアカウンセリングとは 55

第4部 キャリア教育 実践資料 56

- 1 小学部におけるキャリア発達支援のポイント 57
「基本的な生活動作」や「基本的な生活習慣」を身に付ける 57 / 確かな見
通しをもって指導・支援することが大切 57 / 小学部段階での「働くこと」の
指導のポイント 58
 - 2 中学部におけるキャリア発達支援のポイント 59
「社会生活能力」と「自己表現力」を育てる 59 / いろいろな活動ができる
中学部 59 / 正しい自己理解を促す支援 60 / 中学部段階での
「働くこと」の指導のポイント 60
 - 3 高等部におけるキャリア発達支援のポイント 61
実際の社会生活で通用する力をつけることが大切 61 / 卒業後の生活を意
識した指導・支援 61 / より良い人間関係をつくることを教える 61 /
高等部段階での「働くこと」の指導のポイント 62
 - 4 各障害の特性に応じたキャリア発達支援のポイント 63
自閉症の児童生徒に対するポイント 63 / 医療的ケアの必要な児童生徒に
対するポイント 64 / 発達障害の児童生徒に対するポイント 65
- 【資料1】4歳の指導課題の例 67
【資料2】キャリア教育啓発リーフレット(保護者用) 68
【資料3】障害のある子の「PATH」を考えよう! 69
【資料4】家庭でできるお手伝いリスト 70
【資料5】保護者との連携チェックリスト 71
【資料6】自己表現の大切さと指導 72
【資料7】性教育の大切さと指導 73
【資料8】ソーシャルスキルトレーニング 74
【資料9】実習の評価と巡回指導のポイント 75
【資料10】インリアルアプローチの紹介 76

■ はじめに

このガイドブックは、当センターの「知的障害のある児童生徒が在籍する特別支援学校における組織的、系統的なキャリア教育の在り方に関する研究」において、特別支援学校におけるキャリア教育を推進するための手だてとして作成したものです。

ガイドブックは、「理解編」と「実践・資料編」の2巻で構成されています。

「理解編」は、特別支援学校におけるキャリア教育を推進するための基本的な考えや進路に関する資料を掲載し、教職員、保護者を含めた支援者全ての理解啓発を目的とした内容になっています。

「実践・資料編」は「理解編」の続編であり、特別支援学校の教職員を主な対象として、組織的、系統的なキャリア教育を進めるための計画の立て方や評価の観点、障害の状態に応じた指導・支援のポイントの紹介等、「理解編」をより具体化した内容になっています。

特別支援学校におけるキャリア教育とは、卒業後の豊かな生活の実現、社会参加と自立に向け、卒業後を見とおした支援を組織的、系統的に行うことであると考えます。

本ガイドブックをとおして、各特別支援学校における組織的、系統的なキャリア教育の在り方を一人一人の先生方に考えていただき、子ども達の社会参加と自立を促す指導・支援の充実が図られることをねらいとしています。

また、本ガイドブックで示している知的障害のある児童生徒の学習プログラムや計画等は、全て「例」として作成したものです。キャリア教育の推進にあたっては、自校の実態に即して、学習プログラムや推進の手だてを全職員で共通理解しながら、作成していくことが必要です。本ガイドブックを各校のキャリア教育を推進するための参考資料としてご活用頂き、各学校らしさをいかした特色あるキャリア教育を作り上げて下さることを願っております。

平成20年3月

<ガイドブック作成（実践・資料編）のねらい>

- ・ キャリア教育を組織的、系統的に取り組むことへの理解
- ・ 組織的、系統的なキャリア教育の在り方に関する理解
- ・ 障害の状態に応じた指導・支援や児童生徒のキャリア発達能力を育成する指導・支援の理解と充実

《活用例》

- ・ 各学校における教職員対象の学習会や研修会の資料として
- ・ 各学校が自校のキャリア教育を推進するためのガイドとして
- ・ 各支援者が支援を行う際の資料として